



「下瀬谷小・日向山小」小規模校 再編検討委員会 NEWS

「第 7 号」(最終号)
平成20年12月19日
発行:検討委員会事務局

「第7回」検討委員会 開催

- ★日時:平成20年12月4日(木)19時から
- ★場所:日向山小学校「市民図書室」



【次 第】

- 1 開会
- 2 第6回検討委員会の内容説明
- 3 議題
 - (1)新校の特色づくりについて
 - (2)意見書について
 - (3)その他



< 決 定 事 項 >

- ◆新校の特色づくりについて、正副委員長(案)を一部修正し、了承されました。
- ◆意見書について、議論の内容をもとに一部修正し、完成版を全委員に送付することになりました。

<修正の表記のしかたについては、正副委員長に一任することで了承されました>

< お 知 ら せ >

今回の検討委員会をもって、すべての検討項目は終了し、本年3月に準備会を立ち上げ、4月以降全7回にわたって開催されました検討委員会は、終了しました。

{委員長より}

●第6回の委員会で新校名が「瀬谷さくら小学校」と決定いたしました。地域の方々や両小学校の児童の皆様から多数の様々な校名案の応募がありました。校名を選定するにあたり、委員の皆様も感じられたと思いますが、様々な想いが込められた候補案の中から選ぶ難しさを私自身も感じました。

「瀬谷さくら小学校」という校名は、正式には市会の議決により決定することですが、今後、新しい学校から巣立っていく子どもたちが、毎年、春のさくらを見るたびに自分の母校を思い出してくれるのではないかと思います。そう思うと大変良い名前決定したのではないかと感じております。本日も委員の皆様方のご協力を、よろしくお願い致します。

議題(1)新校の特色づくりについて



委員長より、新校の特色づくりについて「正副委員長(案)」の提案があり、この案も含めて検討を行いました。

「新校の特色づくり」について正副委員長(案)

- (1)自分を大切にする子、他を思いやれる子の育成
 - ① コミュニケーション能力の育成
 - ② 基礎基本の定着
 - ③ 情報教育の推進
- (2)学校、家庭、地域が共に児童の成長を見つめ育てていく学校運営



【質問】新校の特色づくりについて、もう少し具体的にしたほうが良いのではないかと。基礎基本だけではなく、読み書きそろばんの習得としたほうが良い。

<回答>古川下瀬谷小学校校長 ご指摘の基礎基本については、読み書き計算だけではなく、幅広く捉えています。また、情報教育については、近年、インターネット等についてセキュリティ面や情報を扱うマナー等の重要性も問われています。特色づくりについては、それらを含めた形で表現しています。

<回答>庄子日向山小学校校長 基礎基本は、読み書きそろばんだけではなく、学校で習得する判断力・表現力・行動力等を含んでいる内容です。情報教育は、マナー教育の徹底も教育内容に含まれています。授業中にパソコンを使って、よりわかりやすい授業や情報収集を行うことも取り入れて現在行っていますので、新校となっても、これまで以上の充実した情報教育を進めていきます。

【意見】子ども達の体力づくりを進めていくという内容も追加していただきたい。近年の児童をみると体力が低下しているように感じる。是非取り入れていただきたい。

【意見】小学校だから極端な特色というより、基本的なことが常道だと思う。横浜市では情報教育も重視しているとのことなので、「情報教育の推進」は必要と考える。



【質問】現在の下瀬谷小と日向山小の特色があれば教えていただきたい。

＜回答＞古川下瀬谷小学校校長 平成20年度から学校独自の検定システムをつくって「下瀬谷小学校算数検定」「下瀬谷小学校漢字検定」を行っています。子ども達が学校生活を楽しく充実した内容としていくために、基礎基本の定着を重点的に進めています。

体力づくりについては、体育協会や地域の方々の協力をいただきながら、遊びや運動などをとおして取り組んでいます。

英語教育については5年目になり、全学年で取り組んでいます。その他には地域の方々の協力をいただきながら、畑作業等自然にふれあう時間も取り入れた教育活動を進めています。児童一人ひとりが力をつけて、自信が持てるよう教職員一同が取り組んでいます。

＜回答＞庄子日向山小学校校長 本校は全学年が単級ということもあって、縦割り班活動（ひまわり班活動）を行っています。1年から6年まで縦割りにして、全校遠足、運動会などを行っています。学級だけの人間関係ではなく、いろいろな集団を構築しながら人間関係づくりに取り組んでいます。

運動会などは、地域の方々も一緒に参加して地域との関係づくりもやっています。平成14年度からの重点研究では、情報教育を重点的に進めています。パソコン操作についても縦割り活動の中で、高学年が低学年に教える方法で互いに学び合いながら児童間でも交流を行っています。

【意見】近年の子どもの姿勢が非常に良くない。また、「権利と義務」もこれまで以上に教育が必要と考える。「健やかな体の育成」「権利と義務の使い分け」これらを取り入れた内容にしてください。

＜回答＞古川下瀬谷小学校校長 「権利と義務」については、「（1）自分を大切にする子、他を思いやれる子の育成」に含まれており、大切なことであると認識しています。

委員長より、「新校の特色づくり」については、いただいたご意見を意見書に反映していくことで、正副委員長に一任させていただきたい旨の説明があり、委員の皆様から了承をいただきました。

議題(2)意見書について



【意見】馬場副委員長 統合校の通学区域について、これまででもお願いしていますが、現在の日向山小学校の通学区域外の地域について、学区の見直しをお願いしたい。

＜回答＞事務局 馬場副委員長よりご要望のありました、一部の学区の見直しについては、今後、早急に検討していきます。

【意見】「必要な施設整備に配慮」という言葉ではなく、「必要な施設整備について最大限の努力をお願いします」としていただきたい。また、両校のPTA活動については、新しい交流のあり方について意見書に盛り込んで良いのではないかと思います。

委員長より、「意見書」について皆様からいただいたご意見を正副委員長で協議し、完成させていただきたい旨の説明があり、委員の皆様から了承をいただきました。

議題(3)その他



【意見】馬場副委員長 すべての検討項目が終了したわけですが、今後においては、両校の児童・保護者・教職員の方々の充実した交流活動が行われますよう関係者の方々のご協力をお願いいたします。両校長におかれましては、統合に向けてご苦勞をおかけすることとなりますが、地域といたしましても、出来る限りの協力させていただきますので、よろしくお願いいたします。

【意見】下瀬谷小学校の体育館が老朽化している。是非、再編統合ということで早急に改修工事をお願いしたい。

＜回答＞事務局 体育館の改修については、再編統合校ということも含めて検討していますのでご理解いただきますようお願いいたします。

【質問】現在、横浜市内ではどのくらい、改修工事待ちの学校があるのか。工期はどのくらいかかるものなのか。

＜回答＞事務局 工事待ちの学校数は、現在、資料がないため、わかりませんが、毎年5～6校の改修工事を行っています。

＜回答＞まちづくり調整局 実際の工事では、まず、工事終了が卒業式に間に合わせなければならないため、2月頃の完成を目指し、8月頃に工事開始というのがこれまでのスケジュールとなっています。設計については前年に行います。

【意見】再編統合する学校を優先に工事をするべきと考える。



【委員長】体育館の改修工事は、膨大な予算や時間が必要なことと思います。しかし、ただ今のご意見について、事務局は十分受け止めて、対応をお願いいたします。

【質問】意見書の中に、体育館の改修について入れ込むことはできないのか。

＜回答＞事務局 具体の改修内容については、建築確認等の法令に関わることであり、これまでの再編統合の意見書にも入れませんでした。

<回答>古川下瀬谷小学校校長 体育館の現状については、すでに教育委員会の関係部署の方々が検討しており、近い将来、やっていただけるものと信じていますので、もう少しお時間をいただきたいと思えます。来年度については、まず、校舎を改修していきたいと考えています。長い期間、学校内で複数の工事が行われるのは児童にとってもよくないことなので、体育館の改修をするのであれば22年度以降と考えています。

委員長の挨拶 ～網代委員長～



検討委員会におきましては、できるだけ公平に多くの方々よりご意見をいただき、検討内容についても、十分ご理解、ご納得いただきながら、進めていくことを心がけてまいりました。

今年の3月に、検討委員会準備会を立ち上げさせていただき、本日まで7回にわたり検討委員会を開催させていただきました。委員の皆様のご協力並びにご指導のおかげを持ちまして、下瀬谷小学校・日向山小学校の小規模校の再編統合に関する意見書を取りまとめることができました。私は大変立派な意見書の内容であると思っております。胸を張って「田村教育長」に提出をさせていただきたく、また、皆様方の温かいお気持ちや、強いご要望を申し上げたいと思っております。

来年度は学校施設の整備、先生方や児童の皆さん、保護者の皆さんの交流、また、地域の皆様との交流についても大切なことと考えております。そのようなことを進めながら、通学路の選定、通学区域内の安全点検、危険箇所の整備等も行っていかなければならないと思えます。

将来の子ども達のために大きな夢と希望を持ち、大勢の児童をお迎えして、平成22年4月1日に見事に、新しい学校「瀬谷さくら小学校」が開校できますよう、皆様のより一層のご協力・ご支援をお願い申し上げます。

本日までの委員の皆様のご協力に感謝申し上げますとともに、地域の皆様や保護者の皆様、両校の先生方に対しまして、温かく検討委員会の推移を見守りいただき、ご協力いただきましたことをこの場をお借りして感謝申し上げます。

※12月12日(金)11時に、網代委員長から田村教育長へ「意見書」の提出が行われました。

田村教育長より、網代委員長に対し「長期間にわたり熱心なご議論をしていただきましてありがとうございました。意見書の内容について精査させていただき、ご要望にお応えできるよう関係機関・関係部署と調整を進めてまいります」との回答がありました。



【再編統合についての説明会のお知らせ】

検討委員会から再編に関する意見書を提出いただいたことに伴い、下瀬谷小学校と日向山小学校の通学区域にお住まいの方々を対象に、再編統合に関するこれまでの経過及び検討結果等について、説明会を開催します。

- ◆日時：平成21年1月12日(月)10時から
- ◆場所：下瀬谷小学校「体育館」

今後、下瀬谷小と日向山小の再編統合については、教育委員会の議決を経て、市会に提案し議決されれば正式決定することになります。
なお、意見書の内容は次のとおりです。

平成20年12月12日

横浜市教育委員会
教育長 田村 幸久 様

「下瀬谷小・日向山小」小規模校再編検討委員会
委員長 網代 宗四郎

下瀬谷小学校・日向山小学校の小規模校の再編に関する意見書

はじめに

当検討委員会は、横浜市教育委員会が策定した「横浜市立小・中学校の規模及び配置の適正化並びに通学区域制度の見直しに関する基本方針」に基づき、下瀬谷小学校・日向山小学校の小規模校の再編について検討するため、本年3月に設置されました。

平成20年3月25日に検討委員会準備会を立ち上げ、4月以降7回にわたり小規模校再編に係る諸課題を検討し、これを取りまとめたので、次により意見を申し述べます。

1 小規模校の再編計画案

(1) 再編に当たっての考え方

児童の教育環境の維持・向上と効果的かつ効率的な学校経営を行うため、小規模校化している日向山小学校と今後小規模校化が見込まれる下瀬谷小学校の2校を再編統合すべきと考えます。

(2) 再編の実施方法

ア 統合後に使用する学校施設は、現在の下瀬谷小学校が適当と考えます。

イ 再編統合の時期は、統合に向けての十分な準備期間を確保する観点から、平成22年4月が適当と考えます。

ウ 再編統合により、新たにスタートする学校にふさわしい教育環境を確保する観点からも、必要な施設整備について最大限の努力をお願いします。

2 通学区域変更案

(1) 小学校の通学区域

現在の下瀬谷小学校、日向山小学校の通学区域を合わせた学区とします。

(2) 中学校の通学区域

現在指定されている下瀬谷中学校及び南瀬谷中学校について、統合後においても現状のままとすることが望ましいと考えます。ただし、今後、保護者や地域から通学区域について変更等の要望がある場合は、教育委員会として特段の配慮をお願いします。

3 統合校の学校名

統合校の名称は、「瀬谷さくら小学校」とすることが適当と考えます。

4 通学安全要望

昨今の社会情勢から、防犯・不審者対策等、多面的な視点で児童生徒の通学安全を確保する必要があると考えます。具体的には、今後、両校の学校関係者、保護者、地域が中心となって、

- 通学路及び通学区域の危険箇所の点検
- 通学路案の検討・設定
- 通学路の安全マップの作成
- 通学安全パトロールの強化
- 学援隊の拡充

などに取り組んでいきます。

なお、小規模校の再編統合という事情も考慮し、必要な改善及び支援については、教育委員会並びに関係区役所、関係機関は最大限の努力をお願いします。

5 その他小規模校再編に当たっての要望

(1) 統合までの期間においては、両校で「新しい学校を創造する」という考え方にに基づき、交流事業や統合校の教育目標の設定等を進めていただき、統合校への円滑な移行を促進するようお願いします。

(2) 統合校の円滑な運営を図るとともに環境変化に児童が順応できるよう、統合校の教職員は、できるだけ両校の教職員を配置するよう配慮をお願いします。

(3) 新たな「瀬谷さくら小学校」には、これまで2校が築いた歴史を尊重し、できる限り関係資料等の保存・記録をお願いします。

6 新校の特色づくりについて

両校の教育関係者は、地域の期待やニーズも踏まえて、教育内容の充実に取り組むとともに、教育委員会も必要な支援を行うよう配慮をお願いします。

また、本検討委員会としては、

(1) 自分を大切にす子、他を思いやれる子の育成

- ① コミュニケーション能力の育成
- ② 基礎基本の定着
- ③ 情報教育の推進
- ④ 健やかな体づくり

(2) 学校、家庭、地域が共に児童の成長を見つめ育てていく学校運営

などを取り入れた新校にふさわしい特色ある学校づくりをお願いします。

むすびに

横浜市は「『まち』とともに歩む学校づくり」をすすめています。下瀬谷・日向山地区においても、両校の統合を契機に、保護者や地域住民による見守り活動や様々な学習活動への参画など、学校との連携・協力体制をより一層推進していきたいと考えています。

横浜市においても、地域住民との協働を推進し、当地区がより良いまちとなるよう各種事業を推進されるよう要望します。

今回の検討委員会をもって「下瀬谷小・日向山小」小規模校再編検討委員会は終了しました。これまでご協力いただきました地域・保護者の方々にお礼申し上げます。平成22年4月から新たにスタートする「瀬谷さくら小学校」をよろしくをお願いします。

「下瀬谷小・日向山小」小規模校再編検討委員会の経過、横浜市の基本方針等はホームページでもご覧いただけます。・基本方針など <http://www.city.yokohama.jp/me/kyoiku/gakku/gakku.html>

・「下瀬谷小・日向山小」小規模校再編検討委員会

<http://www.city.yokohama.jp/me/kyoiku/gakku/kadaikibo/index4.html>



「下瀬谷小・日向山小」小規模校再編検討委員会について、ご意見をいただきありがとうございました。

* 検討委員会事務局 *

横浜市教育委員会事務局学校計画課 TEL : 045-671-3253 / FAX : 045-651-1417